

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♪ジョイコン NEWS ♪

第52号 (2022年2月)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
お待たせしました！ いよいよ再開です。

“コロナ禍”の影響で、この2年間にわたりやむなく公演を中止（延期）  
して参りましたが、このたび、会場を港北公会堂に移して再開いたします。

再開公演のトップは、“ミュンヘン国際音楽コンクール優勝、ドイツ拠点の  
国際派”である葵トリオ（ピアノ三重奏）です。

皆さまのご来場をお待ちしております。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第52号）をお届け致します。

\*\*\*\*\*

【もくじ】

- 
- 【1】次回コンサートのご案内
    - ◆第55回コンサート
  - 【2】今後の予定（先取り情報）
    - ◆第56回コンサート
  - 【3】“のん”の音楽雑記帳♪『もっと演奏してほしい！三重協奏曲』

\*\*\*\*\*

【1】次回コンサートのご案内

-----

★☆☆第55回コンサート☆☆★

- ◇2022年3月20日（日曜日）14:00開演
- ◇出演：葵トリオ（ピアノ：秋元孝介、ヴァイオリン：小川響子、チェロ：伊東裕）
- ◇プログラム（予定）
  - ◆モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ハ長調 K. 548
  - ◆リーム：見知らぬ土地の情景Ⅲ
  - ◆シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調 D898
- ◇料金：大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円
- ◇会場：横浜市港北公会堂（東急東横線 大倉山駅より徒歩7分）  
（会場が変更になっています）

第55回ジョイフルコンサートは  
『葵トリオ リサイタル～ミュンヘン国際音楽コンクール優勝 ドイツ拠点の国際派  
常設アンサンブルならではの芳醇な響き』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*

葵トリオのみなさんからメッセージが届いています

\*\*\*\*\*

延期を経て、ついに出演させて頂けることをとても楽しみにしております。  
夭逝した天才モーツァルトとシューベルトの瑞々しい音楽、そして現代を生きる  
巨匠リームのドラマティックな音楽をどうぞお楽しみください。（葵トリオ）

\*\*\*\*\*

まだまだコロナの終息にはほど遠いですが、大倉山ジョイフルコンサートが  
再開できることになり、心から嬉しく思います。  
そして「葵トリオ」の素晴らしい演奏家グループの方が演奏して下さいます。  
私自身とても楽しみにしています。

- シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調 D898

## ☆シューベルト

シューベルトはオーストリアの作曲家で歌曲の王とされています。

31歳で亡くなるという短命で、あまり経済的にも恵まれなくて、不遇なイメージです。10代の初めには作曲の才能を発揮し、金銭的に困窮しているシューベルトを友達が支えます。それがずっと続いていきます。本当に周りの友人に恵まれていたのだと思います。

幼少時代は教会の聖歌隊に属していました。そこで家にピアノが無かったシューベルトは聖歌隊のピアノを使って、ピアノや作曲を勉強できるようになります。

変声期を迎え、合唱ができなくなると、父の学校で教師として働くようになります。ただこの教師としての仕事は、シューベルトは熱意を感じる事ができなかったようです。

学生時代の友達に教師を辞めて、音楽に専念することを薦められその友達の好意で、音楽に専念することになります。その後シューベルトを支援する友達がどんどん増えていきました。

その仲間は「シューベルティアード」と呼ばれるグループになっていきます。そこまで仲間を支えられるシューベルトは音楽の才能だけではなく、人間的にもとても魅力があったのだと思います。

多少楽譜の出版で収入を得た時期もありますが、社会的に認められることはありませんでした。

作曲家のウェーバー、ベートーヴェンとも知り合いますが、親しい関係にはならなかったそうです。ベートーヴェンをシューベルトは尊敬していて、連弾のための「フランスの歌による演奏曲」作品10を献上しています。

1827年にベートーヴェンが亡くなります。ベートーヴェンの葬儀に参列し、翌年シューベルトも31歳で亡くなります。兄フェルナンドが手を尽くし、シューベルトの遺体は当時のベートーヴェンの墓の隣に埋葬されました。

シューベルトの作品が世の中に広く知られるようになったきっかけは、死後10年後に、シューマンがシューベルトの兄の家を訪れた時に、「大ハ長調の交響曲」の楽譜を見つけ、それをメンデルスゾーンの指揮で演奏されたことです。それが高く評価されたことでその後次々と埋もれていた楽譜が出版されていくことになります。

その過程で今回演奏されるピアノ三重奏曲第1番変ロ長調 D898の楽譜も見つかったものだと思います。

## ☆ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調 D898

このピアノ三重奏曲第1番は1827年に作曲されました。亡くなる前年に作られたことになります。モーツァルトも亡くなる前年に作品を残しています。命を削るような作品を作ったのかもしれないですが、死の直前までそんな大きな仕事ができるのはうらやましいです。

このピアノ三重奏曲は4楽章からなり、演奏時間は約40分という大作です。

特に2楽章はチェロの優雅な旋律から始まり、ヴァイオリンが途中から加わりとてもロマンティックな音楽が奏でられます。シューマンがこの2楽章をとて高く評価したと言われています。

今すべての人が何かとストレスの多い毎日を過ごしていらっしゃると思います。

素敵な音楽を聴いていろいろな事をみんな忘れて優雅な時間を過ごしましょう。

どうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

\*\*\*\*\*

【2】今後の予定（先取り情報）

☆☆第56回コンサート☆☆

◇2022年5月15日（日曜日）14時開演

◇出演：黒岩航紀（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆ブラームス：2つのラブソディ Op.79

◆ブラームス：3つの間奏曲 Op.117

◆シューマン=リスト：献呈 S.566

◆リスト：超絶技巧練習曲「鬼火」S.139-5

◆リスト：ハンガリー狂詩曲 第2番 S.244-2

ほか

◇予約受付開始：2022年3月21日（月曜日）午前9時より

★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

\*\*\*\*\*

【3】“のん”の音楽雑記帳♪『もっと演奏してほしい！三重協奏曲』

三重協奏曲（トリプルコンチェルト）はピアノ三重奏（ピアノ、ヴァイオリン、チェロ）にオーケストラの伴奏を付けたものです。

葵トリオさんは2021年1月にベートーヴェン、12月にカゼッラの三重協奏曲を演奏されました。プロのオーケストラの人でも三重協奏曲というとベートーヴェンしか思いつかないほどで、葵トリオさんのカゼッラの演奏を楽しみにされていたようです。そんな珍しい三重協奏曲について今回はご紹介したいと思います。

◆ベートーヴェン『三重協奏曲 作品56』

この曲は、ヴァイオリンソナタ第9番『クロイツェル』、ピアノソナタ第21番『ワルトシュタイン』、第23番『熱情』、交響曲『英雄』など傑作が作られた時期の作品ですがあまり評価が高くありません。

ベートーヴェンは18世紀後半にパリで人気のあった協奏交響曲というジャンル（オーケストラを伴奏にして複数のソリストが自慢の腕を披露する協奏曲）に挑戦しようとしたのですが、うまく処理しきれずに終わったようです（協奏交響曲で有名なのはモーツァルトの『ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲』）。とはいえ、あくまでベートーヴェンの中期の作品と比べて見劣りするというだけで、古典派協奏曲の様式をした充実した作品です。当時、チェロの協奏曲はほとんど無く、ベートーヴェンにもチェロ協奏曲はないので、この三重協奏曲はベートーヴェンが残した唯一のチェロの協奏曲です。ピアノパートが協奏曲としては易しく、これは後にパトロンとなるルドルフ大公が弾くことを想定して書かれたものだからという説がありますが、否定的な意見もあります。これに対してチェロパートは非常に難しく、全楽章で主要主題を独占し中心的役割を果たしています。ソロ楽器の活躍のバランス、技量のバランスがとれていないことが問題点のようです。

録音はそれなりにありますが、演奏会で聴く機会はとても少ないです。通常のオーケストラに3人のソリストという贅沢さに加え、演奏の仕方の解釈もいろいろあります。ソリストが個性的すぎても困るし、オーケストラが豪華すぎてもよくないし、ソリストとオーケストラのバランスが難しいようです。でも、演奏者、指揮者によって違ったふうに聴けるという楽しみもあります。

録音では、1979年カラヤン指揮、ベルリンフィル、ゼルツァー（P）、ムター（Vn）、ヨーヨー・マ（Vc）や、1995年バレンボイムのピアノの弾き振り、ベルリンフィル、パールマン（Vn）、ヨーヨー・マ（Vc）等、そうそうたるメンバーで演奏されているものがあります。日本では、中村絃子（P）、ズーカerman（Vn）、堤剛（Vc）というのがあります。

◆アルフレード・カゼッラ『三重協奏曲 作品56』  
カゼッラ（1883～1947）はイタリアで生まれ、パリでフォーレに師事し、20世紀前半に活躍した作曲家・ピアニスト・音楽教師です。今年には没後75年のメモリアルイヤーになります。『三重協奏曲作品56』はベートーヴェンの作品番号56を完全に意識しています。しかし、作風は全く違います。オーケストラが充実していて、映画音楽を思わせる迫力と美しいメロディがあります。何度も聴いていると面白い曲だなあと思えます。

室内楽の楽しみとオーケストラの楽しみを兼ね備えた三重協奏曲、葵トリオさんの演奏によって三重協奏曲を演奏会で聴く機会がもっと増えればよいと思います。  
（のん）

\*\*\*\*\*

#### 【編集後記】

東京オリンピックが終わったと思ったら、2月4日から北京オリンピックが始まりますね。コロナも心配ですが、選手の方達には素晴らしいパフォーマンスを期待して、応援したいと思います。東京オリンピックの時は新しい競技に驚きました。今回も楽しみです。

寒い毎日が続きます。どうぞ皆さまお気をつけてお過ごしください。（A.N）

\*\*\*\*\*

※このメールマガジンは、  
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

#### ■次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
予約専用電話：080-8424-5108

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら  
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

#### ■メールマガジン♪ジョイコン NEWS♪の感想などお寄せください。

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>